

## 着任にあたって ーーーーーーーーーーーーーーーー 校長 三輪 秀文

青々とした竹林を背に校門をくぐると、東は、はるか宇治市のほうまで一気に視界が広がります。このすばらしい眺望と恵まれた自然に抱かれた長岡第四中学校で、元気のよい生徒たちとともに過ごせることに、大きな期待と喜びを感じています。

着任してうれしいのは、「おはよう」と声をかけると、見ず知らずの新入り校長にも、必ず「おはようございます」と暖かく返してくれる生徒たちの反応です。当たり前のことのようですが、思春期まっただ中の子どもたちをあずかる中学校にあっては、昨今、なかなか当たり前とは言えない現実に直面することも多々あります。「地域で育て、学校で教え、家庭でしつける」という言葉がありますが、素直な本校の子どもたちの反応は、ほかならぬご地域やご家庭での関わりのたまものだと実感しています。



また、本校に着任してから校舎を回ります

と、すべての学級に、「自分を大切に 人を大切に ものを大切に」と書かれた額が掲げられています。初代校長の佐々木達三先生が大切にされた校訓だとのこと。この校訓から、「向上心を持ち、自分を大切にすることはもとより、家族や仲間を大切に、学級・学校や地域を大切に、生徒の育成」という教育目標を掲げて、日々の教育実践を着実に、誠実に進めてまいりたいと考えています。

私は、多くの保護者や地域の方々のご協力に支えられ、創り上げられてきた校風と伝統を大切に継承しながら、本校のよい面や強みをさらに伸ばし、教育課題の克服と改善に向けて全力を尽くしていきたいと考えております。ご協力、ご助言のほどよろしくお願いいたします。